

# 社民が連立離脱

## 福島党首罷免受け

社民党は30日、東京都内で全国幹事長会議と常任幹事会を開き、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設問題で福島瑞穂党首が消費者担当相を罷免されたことを受け、連立政権からの離脱を決めた。

普天間移設問題では28日、鳩山由紀夫首相が「辺野古」移設を明記した閣議決定への署名を求めたのに対し、「国外・県外移設」を掲げる福島氏が署名を拒否。両者の対立は解けず、首相が福島氏を罷免した。

社民党内では党の主張を訴えた党首が罷免されたことから、国会議員や地方組織の間でも連立離脱論が高まっていた。



30日午後0時54分、東京・永田町の党本部、細川卓撮影  
常任幹事会を終え、党本部を出る社民党の福島瑞穂党首